

第108回『謳粹会』の記

開催 日時 平成19年8月9日(木)

場所 銀座『沖縄料理・竹富島』

赤い百日紅の花が陽射しに輝いている、暑い、誠に暑い。梅雨の長引いた分を取り返そうとするような暑い日。

高校野球甲子園大会も始まっている、選手は大変だが、暑い夏には誠に似つかわしい。

ところで、わが母校土浦一高は、茨城大会の一回戦で敗退した。しかるに、あの土浦二高は一、二回戦を勝ち進みベスト16にまでになっている、将来は二高が甲子園の有力候補になるのでは、信じられない。

このように暑い日には、沖縄料理・泡盛がぴったりである。会は総勢18名、31年山田晴康氏の乾杯で始まる、ビールは沖縄らしくオリオンドラフト。

沖縄は、長寿国だと誰しも思っているだろう、勿論、小生も例外ではない、沖縄料理がヘルシーで、沖縄の長寿を支えているからだ。

ところが、平均寿命をみると、女性は今もトップを守っているが、男性はトップにいたのは1985年まで、今は4位、2000年には26位まで落ち込んでいたという。

原因はなにか、それは沖縄料理そのものにあるのではなく、一般の食事が洋風化したせいなのだそうである。

料理は、先ず「モズク」そして「海ぶどう」等の前菜盛、「ゴーヤチャンブル」、「サラダ」、「ラフテー」、「マース煮」など等。いや、いや確かにヘルシー。



本日は会食された方々の寿命は、明らかに少なくとも一日は延びたはず。お酒は「咲元」8年古酒、まるやかで、オンザロックに最適。900CCのボトルを5本飲み干したが、メンバーの中には飲まない方もおられ、う～ん、飲みすぎた方はヘルシー料理で得をした寿命増を台無しにしてしまったのでは。

ところで、篠田会長は、今、熱心にリハビリに取り組んでおられ、ゆっくりではあるが、自力で歩けるほどまでに回復し、元気に過ごしているとのこと、ご安心くださるようにとの奥様の伝言でした。

(31年露木 修記)

[追記] 謳粹会10周年記念文集原稿督促のこと

原稿の締め切りは10月31日です。そろそろ、ご準備願います。

◎本日の料理

- 1、モズク
- 2、前菜盛 *海ぶどう
*ミミガーのピーナッツ和え 他
- 3、刺身盛 *イラブチャー、アカジン 他
- 4、ゴーヤチャンプルー
- 5、フーチャンプルー
- 6、サラダ
- 7、ラフテー
- 8、マース煮
- 9、珍味三点盛
- 10、そば
- 11、ミニぜんざい

◎ 本日のお酒

- 1、ビール
オリオンドラフト
- 2、泡盛
「咲元」8年古酒
- 3、サワー
マンゴー、ガァバ、アセロラ 他
- 4、お茶
さんびん茶、うっちゃん茶、ウーロン茶 他

◎ 出席者

坪井 洋 (昭27)	横手 一郎 (昭31)
米山 賢二 (昭30)	田中丸正治 (昭36)
大野 金一 (昭31)	北川 正之 (昭37)
菊池 清 (昭31)	池和田 暁 (昭40)
小松崎 皖 (昭31)	高山 了 (昭41)
酒井 隆二 (昭31)	長戸 琴 (昭41)
佐藤 忠平 (昭31)	初田 正雄 (昭41)
露木 修 (昭31)	久松 信明 (昭41)
山田 晴康 (昭31)	安井 恵子 (昭41)

以上